



親子一緒に「春の田植え」

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体
網走川土地改良区
【美幌町】

日本最東端の田んぼの学校

はじめは？

「田んぼの学校」の生い立ちは、平成12年に遡ります。美幌町内の農業者の協力を得て、小学校6年生の課外授業として開催したのが始まりです。

その後、平成14年に美幌町内に体験圃場を造成し、平成15年からは、町内の一般公募による「日本最東端の田んぼの学校」としており、毎年参加者も増え、平成30年は20家族68名の町民が参加しています。

土地改良区単独では「田植え」や「収穫」体験しか出来ませんが、JAをはじめとした様々な組織に協力してもらうことで複合的な農業体験ができています。

おもな活動

「田んぼの学校」では、田植えから刈り取り、脱穀、餅つき、試食までと、一連の稲作体験と、それに付随する田んぼや用水路の生き物調査、小麦の収穫体験と「親子料理教室」の開催や畑作体験、手づくりバターで美幌産小麦のパンを試食など、JAびほろや美幌博物館など、それぞれの得意分野を生かした

様々な関係団体の協力を得て、食育や地産地消、生態系保全、農業施設見学を取り入れ、地域に根ざした複合型の体験活動を定着させています。



用水路の生きもの調査の様子

ここが自慢

【親子と一緒に農業体験、食育体験】

田植えから、稲の観察会、水利施設の見学会、稲刈り、脱穀を経て、最後に餅つきを行う一連の稲作体験を、親子で全て学習できる活動となっています。

また、小麦圃場見学と合わせて「親子料理教室」を開催し、美幌産小麦でナンを作ったり、うどんを作って試食するなど、食育に力を入れています。



収穫後の脱穀（左）と餅つき（右）の様子

連絡先

代表者名：加地政幸さん／設立：1950年／会員：210名

住所：網走郡美幌町字西2条南2丁目

電話番号：0152-73-2037

F A X：0152-72-0645

E-mail：r-odajima@abatoti.jp

U R L：-